



安田女子大学

大学生活について在学生にインタビュー



■ 生活デザイン学科を選んだ理由を教えてください。

山崎 空間をデザインすることや建築に興味がありましたが、専門的で難しそうだと感じていました。生活デザイン学科では、文系出身者でも基礎からしっかりと教えてもらえると聞き、入学を決めました。

徳井 1年生の段階では、衣・食・住を満遍なく学べるため、学びながら将来のことを考えられる点もいいなと思い入学を決めました。オープンキャンパスで安田に来た時に、建築に興味があったので、建物の綺麗さと設備のオシャレさに驚き、ワクワクしたのを覚えています。

■ 好きな授業を教えてください。

宮田 「エクステリアデザイン」の授業です。ワークショップ型の授業で、日本のまちづくりのあり方を学び、住宅の造園や広場のデザイン、街並み景観などにみられる植栽、水景、素材などの様々な生活要素を取り上げ、それらの相互関係を考察し、グループで実際のまちづくりを検討していきます。

古林 「設計製図」の授業です。課題ごとに模型や図面を制作します。座学で学んだことを実技で活かせる場だったので、やりがいがありました。友達と夜遅くまで残り制作したこともあります。時間がかかるので大変ですが、完成した時の達成感・充実感は、なかなか味わえないと思います。

■ 建築デザインコースの魅力を教えてください。

徳井 個々のアイデンティティを生かした自由な発想で意欲的に取り組む学生が多いです。たくさんの個性で溢れていると思います。様々な面で「みんなセンスがいいな…」と感じます。

山崎 実践的に学べるし、1・2年次から段階を踏んで勉強できるので、知識も技術も身につけやすいと思います。また、様々なコンクールにも挑戦することができ、先生方もサポートしてくださいます。

■ 高校生へメッセージをお願いします。

建築士の魅力は、自分が考えている「想い」をカタチにできることです。また、建築を通して人を幸せにできることです。あなたも生活デザイン学科で、熱心に指導してくださる先生方と、刺激し合える仲間と一緒に、建築士をめざしませんか。

■ 建築デザインコースの好きなところは？



暮らしを想える
「建築女子」に。

卒業生からのメッセージ・建築士としてのやりがい

馬屋原 嘉乃さん／大成建設株式会社中国支店設計部(入社2年目)

大学時代、建築の授業で昔の建築家の思想に触れたり、人を想う建物のつくられ方を教わるうちに、どんどん夢中になり、建築を専攻することを決めました。こんなにも心惹かれる学びがあるのかと胸が高鳴りました。

そして私は今、安田学園白鳥キャンパス建替え工事の小学校舎を担当しています。安田女子大学の卒業生として、安田学園の設計に関われることはとても誇らしく、責任も感じます。子どもたちにとってどんな空間が相応しいのか、日々考えながら設計しています。小学校の先生方や学園の皆さんに自分のプランを提案する際、学生時代に「設計製図」の講習会で行ったプレゼンが活きていると実感します。自分の設計を、自分の口で、相手に響くように必死で考え試行錯誤したことは、とても良い経験でしたし、今の自信に繋がっています。ぜひ自分の胸の高鳴りに耳を澄ませながら、大学生活を謳歌してください。

岡田 典華さん／広島市都市整備局住宅部住宅整備課(入庁1年目)

現在は「市営住宅の改修工事」に携わっています。これだけ聞くと、ヘルメットを被って現場にいるイメージしかつかないかもしれませんが、設計や工事監督、説明会の開催などの幅広い業務に携わっています。入庁してまだ2ヶ月ですが、住民の方からの質問に答えることができた時には、やりがいを感じました。これから1級建築士を取得し、様々な業務で経験を積み、まちづくりに活かしたいと思っています。

大学では、建築用語や法規など初めて学ぶことばかりでしたが、現場見学や設計製図などの実践を通して、より理解を深めることができました。ここで学んだ知識や技術は、現場や設計をするうえで活かされています。大学には、様々なことに挑戦できる機会と環境があります。就職活動時も経験豊富な先生方からのサポートがあります。沢山の経験をし、自分のやりたいこと、好きなことを見つけてください。

家政学部 生活デザイン学科 Department of Lifestyle Design

建築デザインコース

家政学部生活デザイン学科は「生活デザインコース」「建築デザインコース」の2コース制(2年次コース選択)です。建築デザインコースでは、建築教育の中でも特に「デザイン」に力を入れ、創造力豊かな女性建築家を養成します。建築デザインには感性が必要ですが、女性ならではの柔らかな発想力、心配りは、建築デザインに向いています。実践的な学びを通して、人間の生活環境としての視点での建築物を表現できる技術を身につけていき、暮らしを想える「建築女子」をめざします。

お問い合わせ[安田女子大学入試広報課]

〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東6-13-1
TEL:082-878-8557 E-mail:nyushi.box@yasuda-u.ac.jp

安田女子大学および生活デザイン学科の

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.yasuda-u.ac.jp/>



学びの特長

✔デザイン力・創造力のある建築士を養成

生活にかかわるデザインを総合的に学修し、健康で快適で心豊かな生活をおくるために必要な視点を養います。建築、インテリア、グラフィック、環境、景観など、住空間にかかわるデザインを幅広く学び、多角的な視点からデザインを提案できるプロデュース力を身につけ、デザイン力・創造力のある「建築家」をめざします。

✔文系出身でも安心の基礎教育

3年次開講の「構造力学Ⅰ・Ⅱ」など、数学や物理の知識が必要な科目が一部ありますが、授業の最初は基礎的な学修から始まり、1・2年次に「基礎数学演習」「基礎物理演習」の科目を受講することができ、文系出身者でも建築に必要な数学や物理をしっかり学ぶことができます。

✔充実した建築士国家試験対策サポート

所定の科目を修得すれば、本学を卒業後、実務経験がなくてもすぐに建築士（一級、二級、木造）国家試験を受験することができます。

建築士をめざす学生は、大学での講義・演習に加えて、資格試験対策に特化した外部スクール講師による「建築士国家試験対策講座」を受講することができます。4年次の6月から開始される「建築士国家試験対策講座」は、翌年の6月まで開講。建築士国家試験は、卒業後の7月に実施されますが、本学の卒業生であれば、卒業後も直前まで講座を受講することができます。また模擬試験など、さまざまな試験対策を実施し、合格に向けて手厚いサポートを行っています。

✔取得可能な資格

・一級建築士受験資格 ・二級建築士受験資格 ・木造建築士受験資格
・インテリアプランナー登録資格（多くの学生が大学2・3年次に取得します）

✔豊富な演習・実習科目

建築関連科目の中で特に重要なのが「設計製図」の授業です。「設計製図Ⅰ～Ⅵ」を開講しており、1年次後期から4年次まで継続して受講することができます。まずは製図記号を修得、次に製図用の定規を使って線を引く練習、さらに建築家が書いた図面を丁寧に模写するなど、設計図の描き方をとにかく徹底して学びます。初の設計課題は住宅。漠然としたイメージに明確な形を与え、最後は模型で現実化します。カフェやギャラリー、集合住宅、幼稚園、図書館などの公共施設の設計にもチャレンジ。練習を重ねるうちに、鉛筆一本で自由自在に空間をデザインできるようになります。この他にも、豊富な演習・実習科目で実践力を身につけます。



学びを支える環境

製図実習室



CAD教室



アトリエ

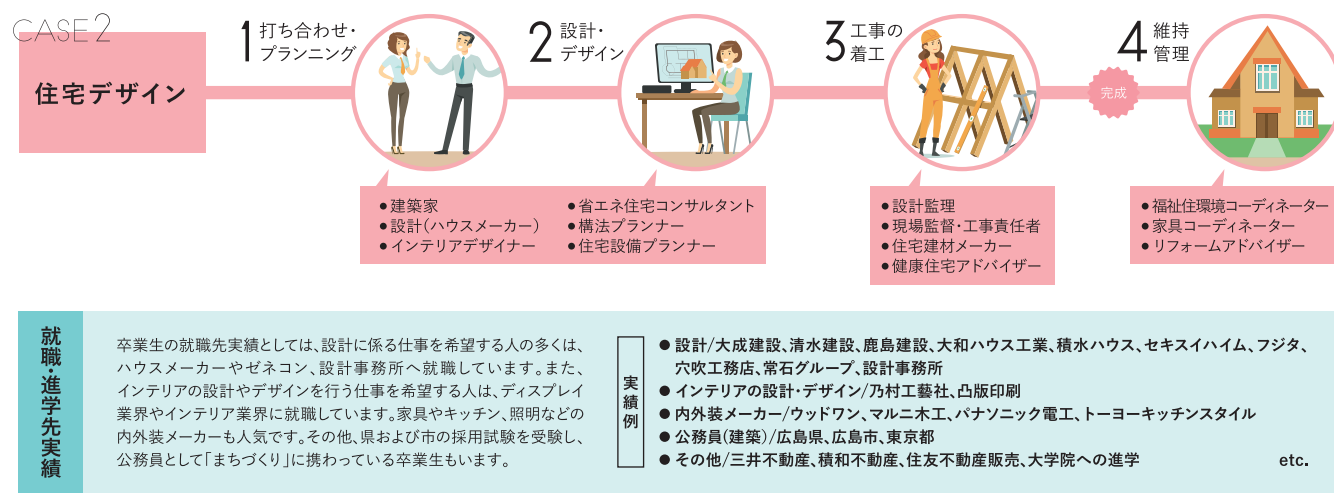
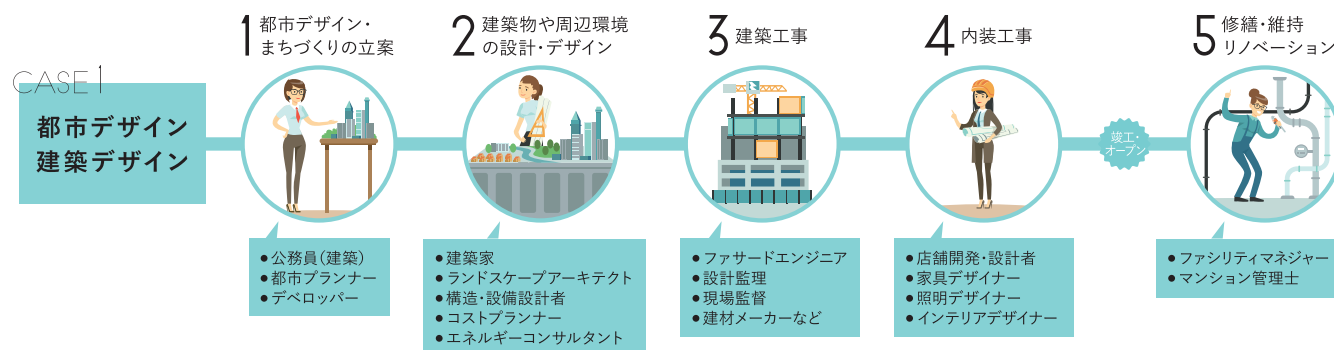


展示スペース



めざせる建築の仕事

建物ができるまでにはさまざまな工程があり、完成後も多くの職種の力が必要とされています。建物に関わる多様な進路をめざせる本学の学びで、あなただけの未来を見つけてみませんか。



4年間の学び

	1年次	2年次	3年次	4年次
	衣・食・住・健康・環境の領域を幅広く学ぶ	コース選択 建築デザインコース 生活デザインコース	専門知識の深化に加え実践力を身につける	自分の好きな研究テーマを選び、学びの集大成である卒業研究・設計に取り組む
基礎	特別科目・共通教育科目	●特別科目（まほろば教養ゼミⅠ～Ⅳ） ●キャリア科目（キャリアデザイン、インターンシップ等）	●教養科目（生活の科学、からだの科学、現代のビジネス等） ●基礎科目（情報処理基礎、英語コミュニケーション、健康スポーツ等）	
展開（講義科目）	●生活デザイン論 ●家族関係論 ●衣生活論 ●健康科学概論 ●食生活論 ●環境科学概論 ●住生活論	●デザイン基礎 ●基礎数学演習 ●基礎物理演習	●卒業研究Ⅰ・Ⅱ	●卒業研究Ⅲ・Ⅳ ●卒業論文
展開（演習・実習科目）	●人間工学 ●住宅構造学 ●建築概論	●住空間計画学 ●建築デザイン論 ●建築計画学 ●環境デザイン論 ●建築一般構造学 ●インテリアデザイン論 ●住環境学 ●色彩学 ●日本建築史 ●都市論 ●西洋建築史 ●比較文化論	●景観デザイン論 ●構造力学Ⅰ・Ⅱ ●住居材料科学 ●住宅設備	●住宅施工・概算 ●建築法規
展開（演習・実習科目）	●設計製図Ⅰ ●絵画・デッサンⅠ ●ガーデニングⅠ	●設計製図Ⅱ・Ⅲ ●環境臨地実習 ●絵画・デッサンⅡ ●ボランティア活動 ●住空間造形演習 ●造形表現	●設計製図Ⅳ・Ⅴ ●建築CADⅠ・Ⅱ ●建築プレゼンテーション ●住居材料科学実験	●設計製図Ⅵ ●エクステリアデザイン ●建築フィールドワーク

コンペ等における実績

近年の受賞を一部紹介します。全国規模で開催されるコンペに毎年、数々の学生が入選しており学外からも高い評価を得ています。

優秀賞

広島平和祈念卒業設計展実行委員会主催
広島平和祈念卒業設計展2021



矢野桂都さんの「廃墟礼拝堂」が「優秀賞」を受賞。様々な人が存在し共生する現代は、生き方や価値観の多様化が前向きに受け容れられる時代。その時代に、悩み苦しむ時、故人を偲ぶ時、祈る時、各人ごとに存在する極めてパーソナルな感情と向き合うことのできる場所が存在するのだろうかという疑問から、本来そうした目的として存在する「礼拝堂」を近代から現代に相応しい空間へと転換させるべく、丹下健三「東京カテドラル」を舞台に「未来に相応しい祈りの場所」の提案を行いました。なお、本作品は「JIA全国卒業設計コンクール2021」において「審査委員長賞」も受賞しました。

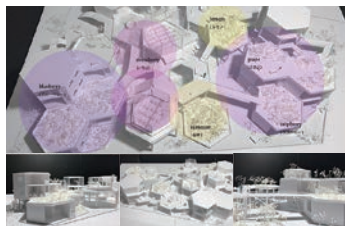


最優秀賞

JCD（一社）日本商環境デザイン協会中国支部主催
Hiroshima Design Days 2020



インテリアデザイン系の関連企業、大学が参加して行われる毎年恒例のイベント「Hiroshima Design Days 2020」において、学生対象コンペ「Design League」で、大隅夕莉奈さんが「最優秀賞」を受賞。大学で制作した作品をプロのデザイナーや他の学生に向けてプレゼンテーションし、公開審査を受けました。受賞作品「集合住宅×果樹園」は、「設計製図Ⅳ」の第一課題で制作した集合住宅の設計作品です。なお、本コンペでは、2018年から継続して本学の学生が入賞しています。



奨励賞

日本建築学会主催
学生ワークショップ2019「令和元年の建築系研究室」

東京田町の建築会館で開催された日本建築学会主催、学生ワークショップ2019「令和元年の建築系研究室」において、原村涼加さん、矢野桂都さんが東京大学、琉球大学、関東学院大学の混成チームとして他チームと競い「奨励賞」を受賞しました。全国から総勢30研究室ほどの意匠系研究室が参加し、研究室混成チームをつくり各チームで建築界の問題に対する解決策や提案を議論し、最終的にプレゼンテーションを行いました。普段とは違う他大学の学生たちとの交流は、貴重な経験となりました。



最優秀賞

広島県主催
ひろしま建築学生チャレンジコンペ2018

全国の建築学生を対象に「魅力ある建築物の創造に向けた人材育成」の一環として行う公共建築物の設計コンペ「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2018」において、白須颯樹さん、澤井遥香さんが「最優秀賞」を受賞しました。全国の大学生・大学院生の応募総数57作品の中から選ばれました。本受賞作品「景観を愉しむトイレ」は、実際に「瀬戸内海国立公園高見山公園内のトイレ」として、白須さん、澤井さんも設計や施工監理に関わり建設されています。

